

全国学力・学習状況調査結果の利活用に向けた状況について

資料4
 全国的な学力調査に関する専門家会議（令和8年度第1回）
 全国的な学力調査のCBT化検討ワーキンググループ（令和8年度第1回）合同会議
 2026年6月1日（月）13:00～15:00

項目		課題・ニーズ	対応の方向性	備考
過去の調査問題の活用	教科問題の活用	過去の教科調査問題への活用ニーズへの対応。	過去の教科調査問題をMEXCBTに搭載。日常の授業、補習、家庭学習等に用いることが可能。CBTの特性を活かして、選択式問題は自動採点の機能が利用可能。	順次搭載（一部搭載済）。
	質問調査の活用	学校として、一人一人の児童生徒の学習状況や生活状況等を継続的に把握し、日常的な指導に生かす。	過去の質問調査をMEXCBTに搭載。全国学調対象学年以外も含めた活用を可能とする。 →【本資料P3】	
教育委員会・学校における活用 結果分析ツールの開発・提供		教育委員会（都道府県・指定都市・市区町村それぞれ）が調査結果を簡便に分析可能なツールが必要。	分析ツールの開発。 （自治体の事情に応じた多面的・柔軟な分析ができるように国として支援。）→【本資料P6～11】	令和8年度秋に自治体において活用いただけるよう、現在開発中。
		現在も分析ツールは存在。国が調査結果を返却する際に、教育委員会自らが分析可能なツールを示しているものの、 <ul style="list-style-type: none"> ・必ずしも活用されていない（認知度不足）。 ・現在の分析ツールは、使用者によっては使用が難解。 ・分析結果がビジュアル化されないため、そのままでは、分析結果を学校や保護者・地域住民に伝えるににくい。 等の課題あり。		
調査結果の深掘り		調査で明らかになった課題について、丁寧な分析が必要。 （例：低SES層ほど格差が拡大している理由等）	委託研究において実施（専門的な知見を活用した高度な分析に関する調査研究）→【資料2-1、2-2】	
IRT分析の理解促進		IRTのイメージがもちにくい。教育委員会や学校が、IRTを含めた用語の意味や、分析の有用性を理解し、適切に活用いただくための工夫が必要。	国立教育政策研究所において、IRTに関する基礎情報、IRTを用いたグラフの読み取り方や学習指導への活用例など、分析に役立つ研修動画を作成・周知。今後、説明会や研修等で活用促進。→【本資料P4】	

全国学力・学習状況調査結果の利活用に向けた状況について

項目		課題・ニーズ	対応の方向性	備考
教育委員会・学校における活用	定性的なデータや事例の収集・提供	<p>国からの提供内容は定量的なデータが中心。定性的なデータ（※）が必要。</p> <p>※教育委員会や学校における調査結果の活用事例、調査結果を踏まえた対応に関するもの。</p>	<p>調査結果の活用事例、調査結果を踏まえた対応に関する、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会向けの活用状況等のアンケート ・事例収集（委託調査研究含む） ・情報交換会 <p>を実施。</p> <p>➡国が他教育委員会や学校の好事例を横展開。教育委員会の企画立案や、指導主事の学校指導等での活用を促進。</p>	
研究者等のデータ利活用	データ貸与	データ貸与希望者がより一層データを利活用しやすい仕組みが必要。	データ貸与に関する仕組みを改善（昨年度のデータ貸与会議でお示し済）。	令和8年度から適用。
	データの整理	毎年度実施している調査結果が経年比較・分析しにくい状況。	<ul style="list-style-type: none"> ・国研HPにて「全国学力・学習状況調査 質問調査アーカイブ」を公開（令和8年1月）。児童生徒質問と学力のクロス分析結果を見ることが出来るツールも追加（同年3月）。→【本資料P5】 ・平成19年度以降の質問調査を整理しナンバリング。 	
	パブリックユースデータの更新	平成27年度以降更新されていない。ダウンロードして学生や統計初学者が手軽に活用できるような擬似データの更新が必要。	令和6年度調査の1万人規模擬似データを公開（令和8年1月公開済）。	

全国学力・学習状況調査の過去の調査問題を教材として活用いただけるよう、MEXCBTに搭載しています。

「全国学力・学習状況調査の調査結果の取扱いの改善等について（通知）」5. (1) (次ページ参照) に従って、教育的な観点から適切な取扱いに留意した上で、別添「MEXCBT上で実施する際の一連の流れ」に従って、児童生徒の端末に調査問題を配信することができます。

OMEXCBTに搭載されている問題

- ・過去に冊子による筆記方式で実施した全国学力・学習状況調査の一部（国語、算数・数学、理科、英語）

- ・CBT方式にて実施した令和7年度調査「中学校理科」（公開問題）

※調査問題一式だけではなく、大問ごとにも問題を搭載しています。

※冊子による筆記方式で実施した令和7年度調査については、3月下旬に搭載予定です。令和8年度以降も、調査実施後に適宜問題を搭載していく予定です。

※児童生徒質問調査も、今後搭載予定です。

【MEXCBTでの問題配信画面】



○活用する問題の選び方例

[国立教育政策研究所HP](#)にて公開されている各教科の「報告書」や「解説資料」に掲載されている「問題別集計結果」や「調査問題一覧表」において、領域・内容・評価の観点・正答率等を確認いただくとともに、分析結果や授業アイデア例も確認するなどして、児童生徒の実態に応じて配信する問題を検討することができます。

【国立教育政策研究所HPに掲載の資料例】



問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点	問題形式	正答率 (%)	難易度 (%)
			数と式	図形	関数	データの活用				
1	1から9までの数の中から素数を全て選ぶ	素数の意味を理解しているかどうかをみる	○				○	32.2	0.7	
2	厚み40mの鉄の塊に塗られる厚さの異なる塗料を塗り替える	数量を文字を用いた式で表すことのできるかどうかをみる				○	○	52.7	7.1	
3	△ABCにおいて、∠Aの大きさが50°のときの頂点Aにおける外角の大きさを求める	多角形の外角の意味を理解しているかどうかをみる				○	○	58.3	1.9	
4	一次関数y=6x+10について、yの増加量がxの増加量の2倍であることを調べる	一次関数y=ax+bについて、変化の割合を基に、yの増加量に対するxの増加量を求めることができるかどうかをみる				○	○	35.4	7.9	

○活用例

上記通知に従って、日常の授業のほか、補習、家庭学習等に用いることができます。

CBTの特性を活かして、選択式の問題については自動採点の機能が利用できます。

学校として定めたいくつかの質問項目を、全国学力・学習状況調査の対象学年以外にも回答してもらうことにより、学校として、一人一人の児童生徒の学習状況や生活状況等を継続的に把握し、日常的な指導に役立てることが可能です。

全国学力・学習状況調査の分析に関する研修動画を公開しました

全国学力・学習状況調査の結果にかかる情報（帳票や結果公表資料）が多様化・多面化する中で、主に各都道府県・政令指定都市の指導主事を対象として、IRT等を用いた分析に関する研修動画を公開しました。公表資料や自治体に返却されたデータについて分析を進めていく際の参考としてご活用ください。

4月に、国立教育政策研究所HPにて公開しました。

掲載URLはこちら [全国学力・学習状況調査の分析にかかる研修資料動画 | 教育課程研究センター | 国立教育政策研究所](#)

<研修動画一覧>（計4本、1本15分間程度）

	タイトル	内容
①	全国学力・学習状況調査の概要と教科調査に関する公表物の活用等について	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力・学習状況調査（悉皆）の概要と結果公表の大まかなスケジュール 国立教育政策研究所の公表物とその活用例の紹介 等
②	全国学力・学習状況調査におけるIRT入門	<ul style="list-style-type: none"> IRTに関する基礎情報 全国学力・学習状況調査におけるIRTスコアの取り扱い 等
③	IRTバンド別類型割合グラフの読み取り方	<ul style="list-style-type: none"> IRTバンド別類型割合グラフの読み取り方と具体例
④	全国学力・学習状況調査 中学校理科IRTバンド別類型割合グラフを生かした授業改善について	<ul style="list-style-type: none"> 中学校理科におけるIRTバンド別類型割合グラフを活用した授業改善のポイント 等

令和7年度 結果の公表と公表物について

公表日	公表内容	国立教育政策研究所公表物等
調査実施時	調査問題	①「解説資料」
7月中旬	全国的な実施状況 学校別成績 個人票	② 結果
7月下旬	全国データに 基づく分析結果	③「報告書」
8月中下旬		④ 全国説明会(Web)
9月下旬	都道府県・指定都市別 データに基づく分析結果	
公表日程	公表物	
令和3年2月	理科の学習指導の改善・充実に関する資料	
令和7年3月	中学校英語指導事例集 映像資料・指導資料	

①解説資料

7教科+質問調査 解説資料

国立教育政策研究所HP
https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokuakuroku.html

各問題の難易度

問題別調査結果

横軸：学力の程度 右にいくほど学力が高い
縦軸：正答率 上にいくほど正答する確率が高い

佐藤さんの例

501
502

正答率：50%未満

正答率：15%未満

IRTバンド別類型割合グラフ

類型2
自己の考えの反省

自己の考えの変容に関する振り返り

反応率 43.3%

データで見る日本の教育「全国学力・学習状況調査」の掲載コンテンツ 質問調査アーカイブ



掲載URL <https://www.nier.go.jp/edsc/edp/data/zenkokugakuryoku/index.html#questionnaire>

全国学力・学習状況調査では、平成19年度の調査開始以降、児童生徒に対する質問調査と学校に対する質問調査が実施されてきました。毎年度の調査結果は報告書に取りまとめられ、国立教育政策研究所ホームページにてpdfファイルが公表されています。しかし、年度ごとの報告書から質問調査の全体像を把握するのは難しい状況でした。

そこで、デジタル庁ファクト&データユニットの協力により、これまでの全国学力・学習状況調査「児童生徒質問調査」「学校質問調査」の質問項目や回答結果の全体像を見ることができるツールを開発しました。

1. 質問項目一覧

過去の報告書に掲載されている質問項目を、カテゴリごとに掲載。

結果を閲覧したい質問項目を選択して「回答の経年変化をみる」をクリックすると、経年変化のグラフを閲覧できる。

2. 回答の経年変化

カテゴリを選択し、集計結果を閲覧したい質問項目を選択。

選択した項目の質問文（最新）と集計結果の経年比較のグラフが表示される。

3. 児童生徒質問と学力のクロス分析

学力との間に一定の関係（注）がみられる項目のリストから、クロス分析結果を閲覧したい質問項目を選択。
（注）相関係数の絶対値が0.2以上であることを目安としています。

選択した項目のクロス集計のグラフと相関係数が表示される。

教科の結果-国語

都市種別:

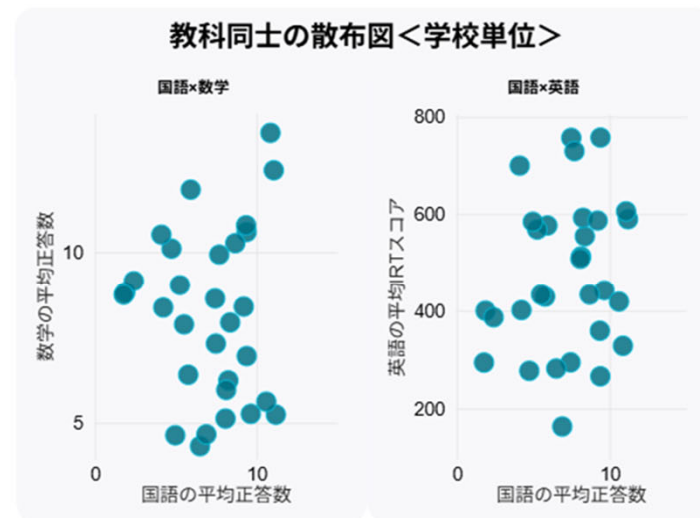
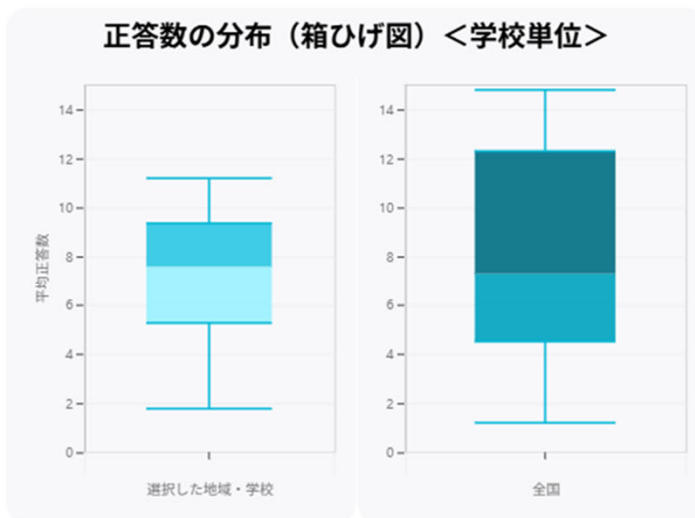
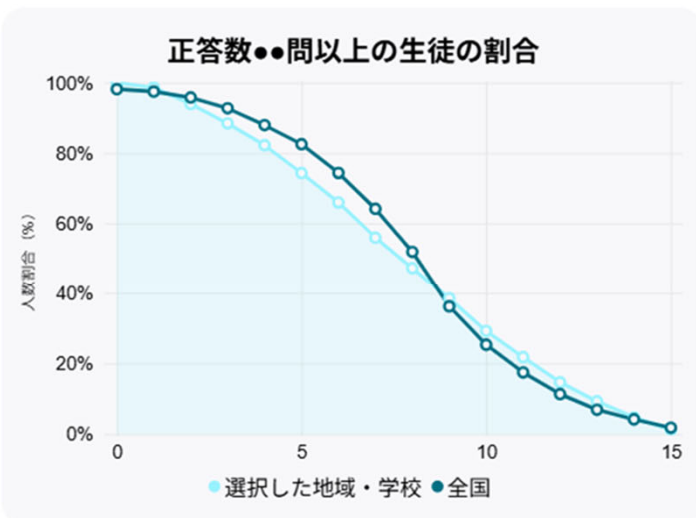
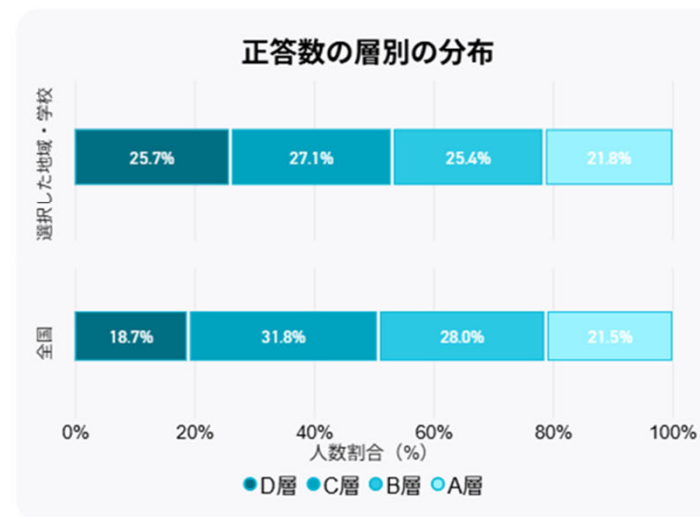
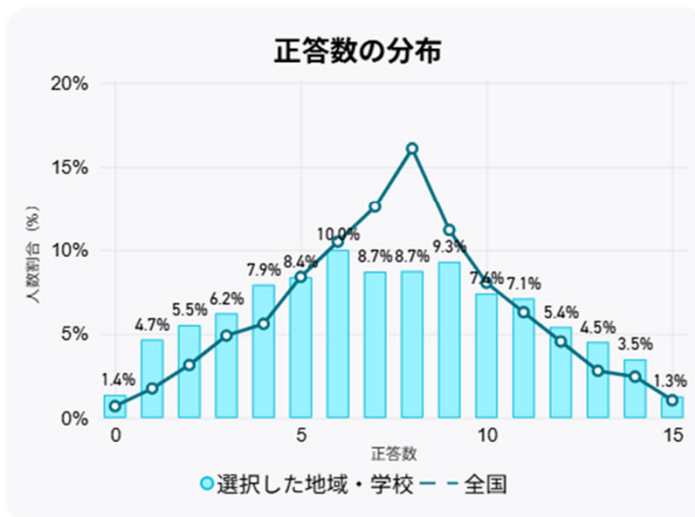
学校規模:

教育委員会名:

学校名:

性別:

学校数: **30** 人数: **2700**



※図表はダミーデータにて生成

教科の結果-数学

都市種別

すべて

学校規模

すべて

教育委員会名

すべて

学校名

すべて

性別

女子

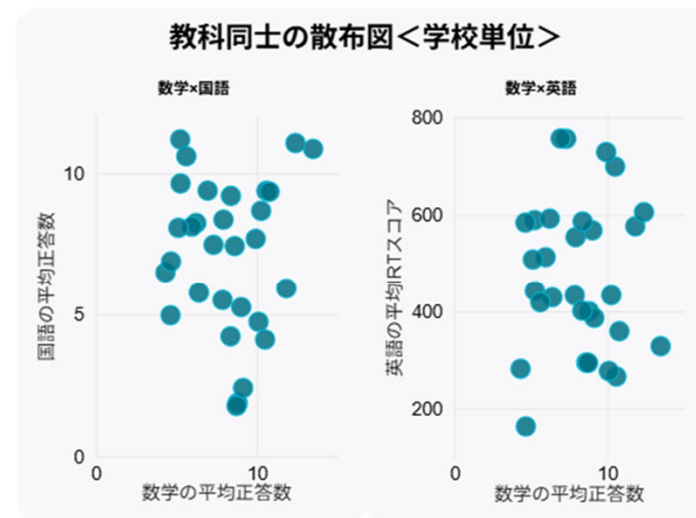
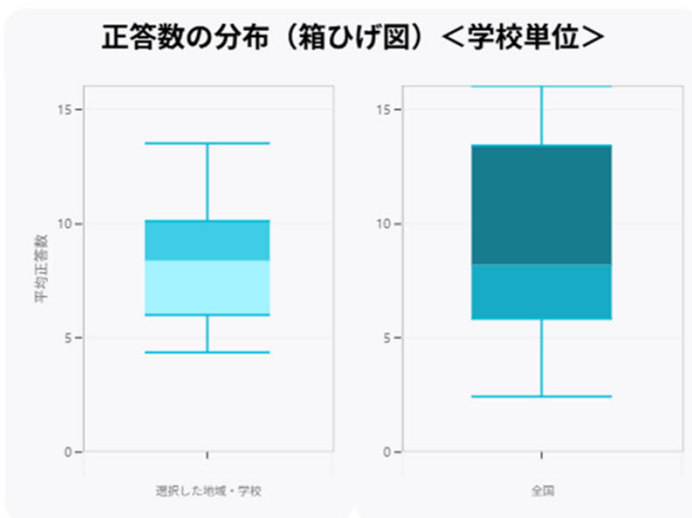
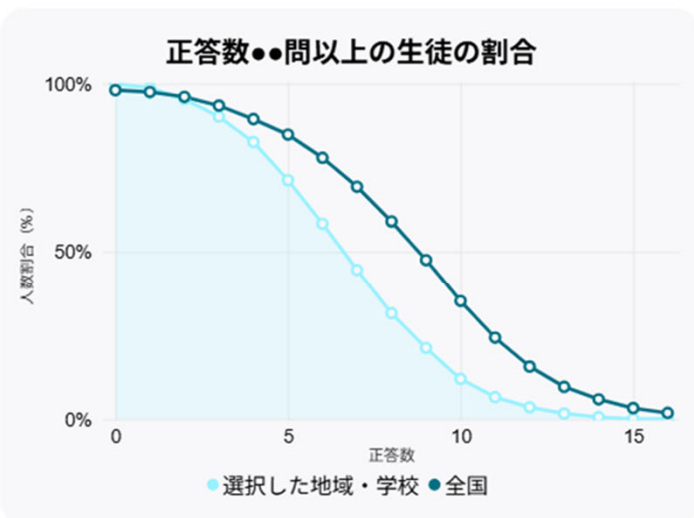
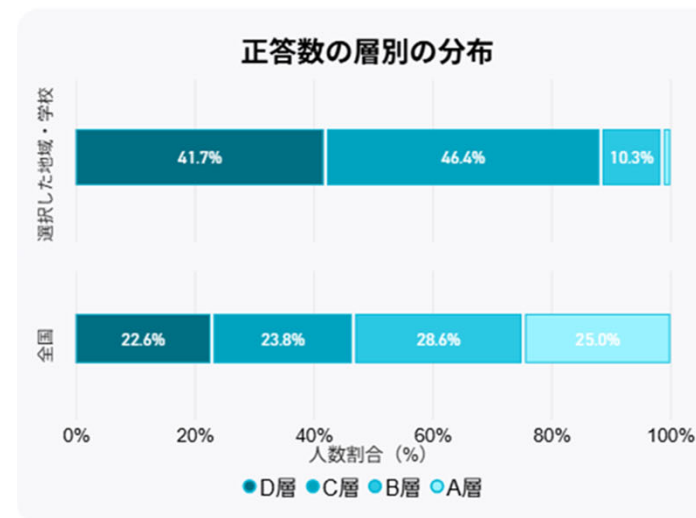
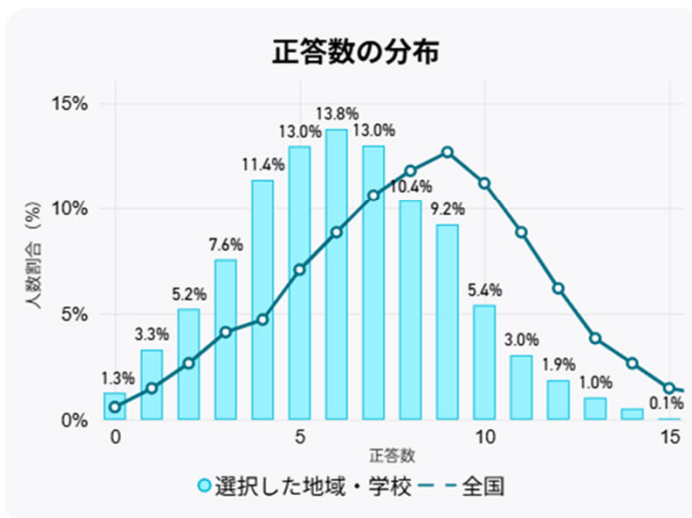
男子

学校数

30

人数

2700



※図表はダミーデータにて生成

教科の結果-英語

都市種別
すべて

学校規模
すべて

教育委員会名
すべて

学校名
すべて

性別

女子

男子

学校数

30

人数

3000

IRTバンドの分布

IRTバンド	人数割合 (%)
1	7.4%
2	25.7%
3	32.3%
4	26.3%
5	8.1%

IRTバンド別の分布

IRTバンド	選択した地域・学校 (%)	全国 (%)
1	7.6%	9.5%
2	25.7%	22.1%
3	32.3%	41.1%
4	26.3%	20.0%
5	8.1%	7.4%

IRTバンド・以上の生徒の割合

IRTバンド	人数割合 (%)
1	100%
2	92.6%
3	66.9%
4	31.2%
5	13.1%

IRTスコアの分布（箱ひげ図）＜学校単位＞

教科同士の散布図＜学校単位＞

※図表はダミーデータにて生成

8

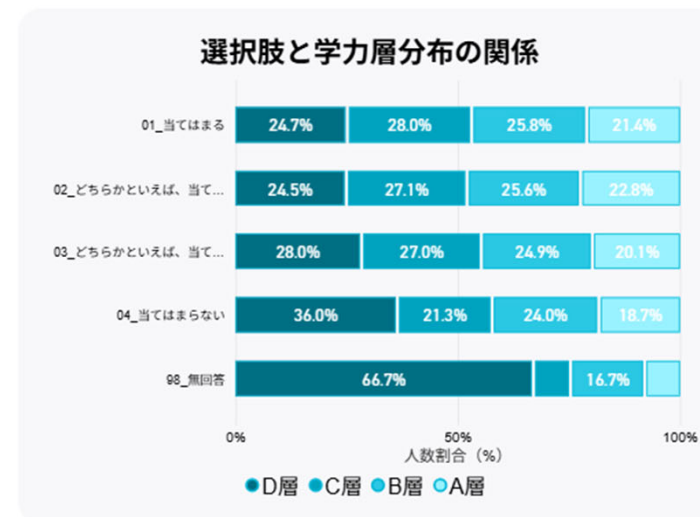
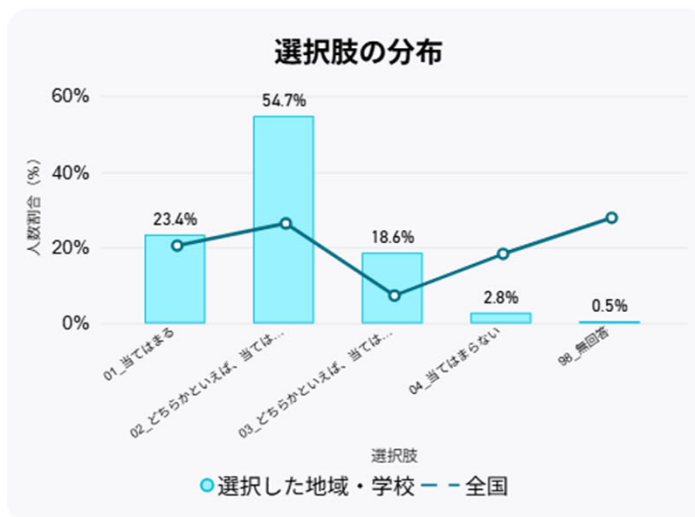
生徒質問の結果×国語

分析対象の質問項目
061_1、2年生のときに受けた授業では、...

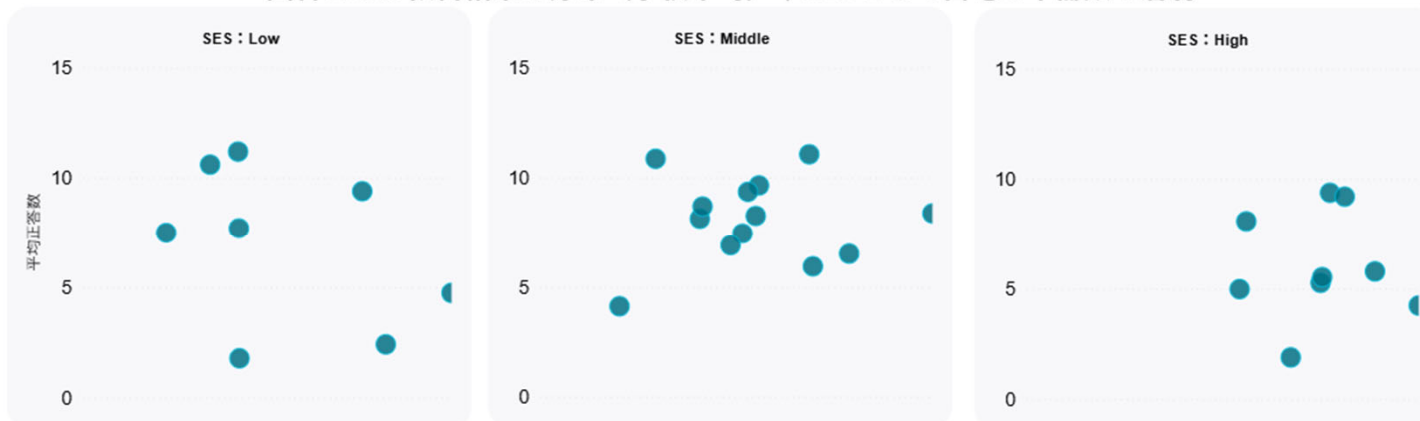
都市種別: すべて
学校規模: すべて
教育委員会名: すべて
学校名: すべて

性別: 女子 男子

学校数: 30 人数: 3000



回答ごとの教科結果の分布 (学校平均) | SESとして自宅の本冊数で層別



質問への回答 (右側ほど肯定的回答)

※図表はダミーデータにて生成

生徒質問の結果×数学

分析対象の質問項目

061_1、2年生のときに受けた授業では、... ▼

都市種別

すべて ▼

学校規模

すべて ▼

教育委員会名

すべて ▼

学校名

すべて ▼

性別

女子

男子

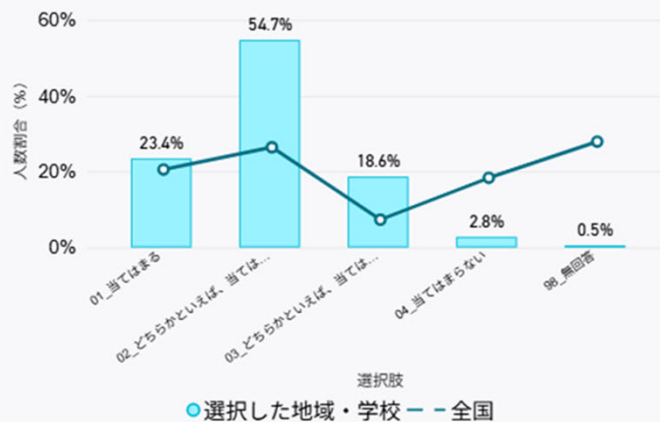
学校数

30

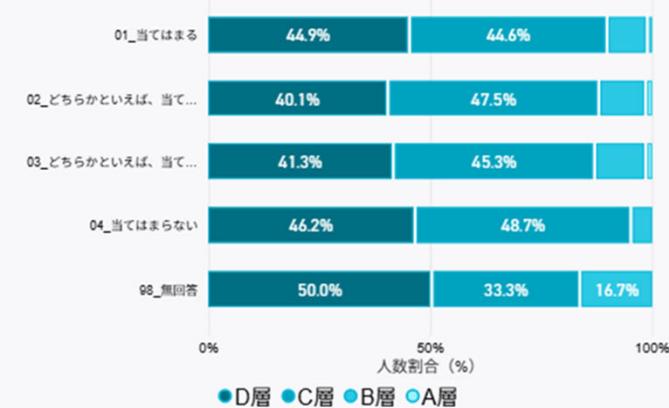
人数

3000

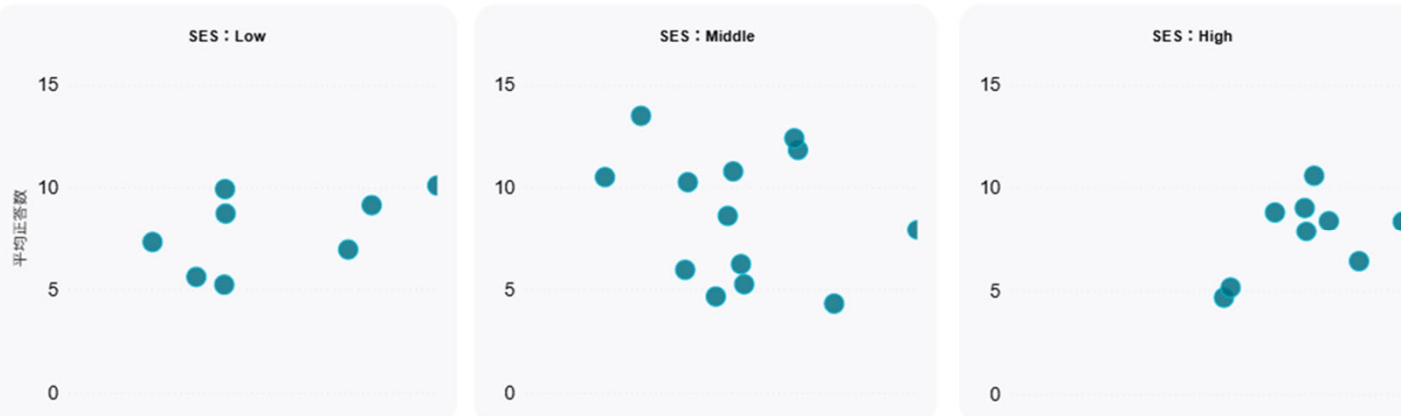
選択肢の分布



選択肢と学力層分布の関係



回答ごとの教科結果の分布（学校平均） | SESとして自宅の本冊数で層別



質問への回答（右側ほど肯定的回答）

※図表はダミーデータにて生成

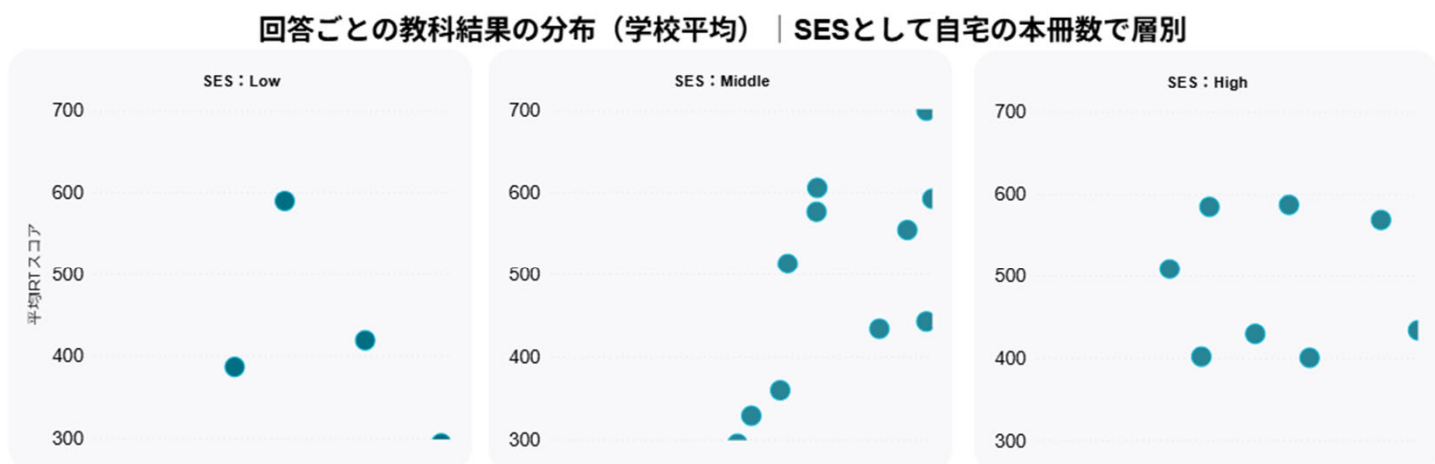
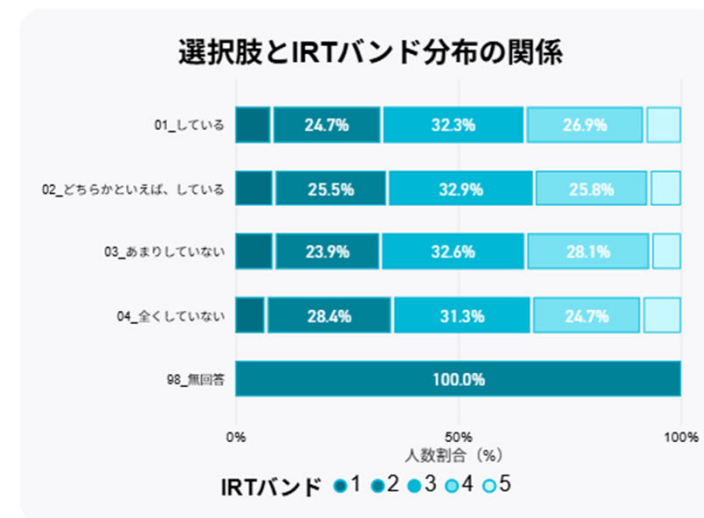
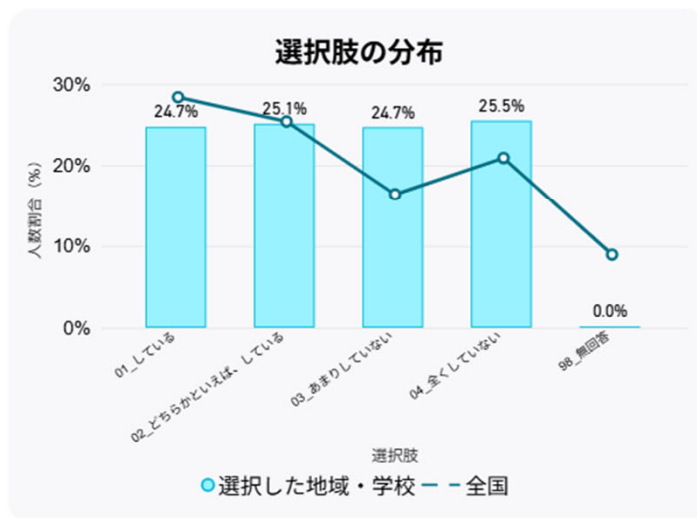
生徒質問の結果×英語

分析対象の質問項目
001_朝食を毎日食べていますか

都市種別: すべて
学校規模: すべて
教育委員会名: すべて
学校名: すべて

性別
 女子 男子

学校数: **30** 人数: **2999**



質問への回答（右側ほど肯定的回答）

※図表はダミーデータにて生成